

ロシアでウエストナイル熱が発生

2010年8月24日 ProMED 情報(France24)



8月24日、中央ロシアのボルゴグラード Volgograd 州で、7月16日～8月23日までに、ウエストナイル熱患者116名と死亡患者5名が報告されました。

夏季におけるボルガデルタ地帯での渡り鳥の巣作りとそれに適した気象条件が、過去10年間この地域でのウエストナイル熱拡大を促進してきました。今年は5～6月の長引く雨と7～8月前半の夏の猛暑が、鳥から蚊、さらに蚊からヒトへの感染を促し、その結果ウエストナイル熱の急激な発生の増加をもたらしました。昨年と比較してウイルスに感染している蚊は2倍です。

ウエストナイル熱感染の危険にさらされている200万名の住民のうち150万 명이住んでいる州都のボルゴグラード市と周囲の地域は、高危険地帯です。ボロネジ Voronezh 州でも、先週末、ウエストナイル熱患者3名が報告されました。

[ProMED 調整者]ボルゴグラード州では、ウエストナイル熱の流行は1999年と2007年に起こりました。1999年は、患者599名と死亡患者33名が報告されました。2007年は、今年と同じように異常に暑く、9月中旬に患者44名が報告されました。